

セラベスト 白

2017年12月

No. 8052B

タイプ 超耐熱塗料

特長 ①耐熱性に優れ、800℃の超高温で加熱されても、変色・割れ等の塗膜劣化や防食性・付着性の低下が起こらない
 ②加熱工事にともなう裏焼けがないので、ブロック段階での白仕上げが可能である
 ③常温速乾性である

用途 船舶内部(居住区、エンジンルーム等)の裏焼け防止・白仕上げ用上塗り

塗料性状 混合比率(質量比) ・ ペーストA : 主剤A = 5 : 2
 色 ・ ・ ・ ・ ・ 白
 密度 ・ ・ ・ ・ ・ 1.27 g/mL
 容量NV (VS) ・ ・ 39±2%
 重量VOC ・ ・ ・ ・ 47.0 wt%
 塗付量(理論値) ・ ・ 147 g/m²
 膜厚 ・ ・ ・ ・ ・ ウェット 115 μm
 ・ ・ ・ ・ ・ ドライ 45 μm

(D.F.T. 45 μm)		5℃	10℃	20℃	30℃
乾燥時間	指触	12分	8分	4分	2分
	硬化	60時間	48時間	30時間	15時間
塗装間隔	最短	14日	10日	7日	7日
	最長	180日	180日	180日	180日
可使時間		30時間	24時間	16時間	10時間

塗装条件 塗装方法 ・ ・ ・ ・ ・ エアレスプレー
 気象 ・ ・ ・ ・ ・ 温度:5~35℃、湿度:50~90%RH
 エアレスプレー時 ・ 適正粘度 : (IWATA CUP) 7~9 秒
 ・ チップ No. : (GARCO) 415~719
 ・ 二次(塗料)圧 : 8.8 ~ 11.8 MPa
 ・ ガン移動速度 : 30~50 cm/秒
 シンナー ・ ・ ・ ・ ・ 無機ショップ用シンナーA、S、QD、
 ・ 希釈率 : 0~6%[容量]
 適合下塗 ・ ・ ・ ・ ・ セラベスト グレー
 適合上塗 ・ ・ ・ ・ ・ -

使用上の注意 ①換気、火気に十分注意して下さい。なお、塗装中のみならず、塗膜が硬化するまで換気が必要です。
 ②ペーストを十分攪拌した後、主剤を徐々に加えて全体が均一になるまで攪拌して下さい。
 ③混合後も塗料を常にゆるやかに攪拌し、沈澱にならないよう注意して下さい。攪拌が強すぎると、塗料粘度が上昇し、ゲル化することがありますので、攪拌は必ずゆるやかに行ってください。
 ④水分の混入は避けて下さい。混入すると粘度が上昇し、ゲル化、固化します。
 ⑤温度、湿度が高い環境では、塗料を混合後速やかに使用し、長時間放置しないで下さい。
 ⑥スプレーガンを被塗面からあまり離さないで下さい。離れ過ぎるとドライスプレーになります。
 ⑦過剰膜厚での塗装は避けて下さい。クラックが発生することがあります。
 ⑧相対湿度が低い場合、硬化乾燥時間が長くなります。
 ⑨夏期(6~9月)の塗装において、スプレーダストが多く発生する場合は、無機ショップ用シンナーSSを使用して下さい。
 ⑩SDSおよび容器に表示の注意事項をよく読んで取り扱い下さい。

荷 姿 21kgセット(ペースト15kg、主剤6kg)

危険物表示	【ペーストA】	【主剤A】
消防庁登録記号	2401SA	240101
引火点	13.6℃	13.0℃
消防法危険物区分	第一石油類	第一石油類
爆発限界(体積%)	下限 1.8、上限 36.5	
有機溶剤区分	第二種有機溶剤	

セラベスト 白 (2017年12月版)

備	考	①セラベスト グレーを下塗りとして必ず塗装して下さい。 ②セラベスト グレー主剤は、セラベスト 白に使用できませんのでご注意ください。 ③主剤は湿気硬化性ですので、高温高湿での保管はできるだけ避け、屋内にて保管して下さい。やむを得ず屋外保管する場合には、シートを被せて降雨等に曝されないよう注意して下さい。 ④塗装条件等については最寄の弊社営業所にお問い合わせ願います。 ⑤塗料密度、VOC量は、塗料配合から計算した値です(無希釈状態)。
---	---	---

本製品説明書に記されている使用条件、使用上の注意事項等を逸脱した使用により生じる品質の異常は使用者の責任にて対応願います。当社が指定する以外の塗料、添加剤等を混合すると、単に品質の異常をきたすのみならず、安全上の問題が発生することもありますので、使用者の責任において安全性、品質等を確認願います。